

(アセスメントで明らかにするもの)

課題分析 標準項目	状態	原因 背景	問題 (困りごと)	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)仮置き	ニーズ番号 (優先順位) 仮置き
10 健康状態	病名)脊椎管狭窄症再発 坐骨神経痛、変形性膝関節症、陈旧性脳梗塞、糖尿病、神経障害、高血圧症 通院 長谷川クリニック:月1回通院。整形外科:月1回通院 服薬 降圧剤、鎮痛剤、本人管理だが飲み忘れがある。長女が確認(土・日) 麻痺 左上下肢に軽いしびれ(開き手は右) 身長155cm 体重42.0kg BMI17.48	・脊椎管狭窄症 再発。坐骨神経痛 変形性膝関節症 これらの疾患のため ・薬の飲み忘れ	利用者 足の痛みやしびれがひどい 家族 薬の飲み忘れがある 意見 痛H・UWLの悪化の可能性あり。 →医療管理を促す。 →のり付けや杖の使用が必要。	痛みやしびれが軽減する 病状が悪化しないようにする ・痛H・UWLがコントロールできず生活が送れない。 →	○ 2
11 ADL	食事:自立。排泄:移動に段差があるので一部介助(一度トイレ沼に合わなかったことがある)入浴:浴室までに段差が多数あり。浴槽への出入りのまたぎ時に介助(長女が土・日に1回介助)。更衣:7屈曲が不自由で靴下は介助。移譲:不安定なために介助が必要。移動:段差がなければつままり歩行、見守り。整容:ほぼ自立。	・疾患による下肢 筋力低下	利用者 転ぶのが心配で歩くのが怖い 家族 浴槽の立ち上がり心配 意見 車いすの恐ろしさがある →筋力の強化のため 下肢リハビリが必要とされている	転ぶのを防ぐ 車いすで安心して歩けるようにする 意欲向上に活動量を増やす(行動範囲が広がる)	○ 1・2 関連
12 IADL	調理:数回したもの、ほとんど行っていない。買い物:日用品は長女、総菜などは夫が買ってくる。掃除・洗濯・日曜日に長女が訪問して行う。金銭管理:夫が行う	・疾患による痛み しびれのため	利用者 料理は自信がないので作らなかつた。お菓子作りで 止まっているから 家族 料理やお菓子作りもできない状態が継続 意見 楽しめたり責任が重くない。意欲低下に繋がらず →下肢の痛みが改善できれば痛みコントロール を行なう。お菓子を作る環境を整える	④今後おかしづくりをしていきたい。 おかし作りを再開すること。準備1冊の時間 がもた。意欲向上につなげる。	○ 7
13 認知	調理の味付けが以前のものと違う。同じものを繰り返し聞くことがある。タンスに自分の持ち物を出し入れしたり、外出時に手提げ袋の中身を出したり入れたりを繰り返す。	・脳梗塞 ・年齢 ・閉じこもり	利用者 家族 薬の飲み忘れがある 意見 認知機能低下の可能性あり →外出の機会や人との関わりを増やす 支援が必要	薬を飲むようにする 他者・社会と関わり。認知機能の低下 を予防する。	○
14 コミュニケーション 能力	視力 聴力:問題なし 痛みが激しいときは、話がかみ合わないことがある。	・コミュニケーション 能力の低下はない	利用者 家族 意見		
15 社会との 関わり	今年の4月より閉じこもった生活をしている。 長男の工務店で夫が働いているが、長男の訪問は不定期。長女は近所に住んでいるが、共働きのため土日の見の訪問。 ハイキング仲間がいる、町田さん。4月以降来ていない。保育士をしていた時の教え子が年に数回訪れる。4月以降来ていない。	・疾患によるもの ・身体に対する 不安	利用者 ずっと閉じこもった。今の体は無理。 家族 家にこもりっぱなしで何もかた(夫) 意見 としこもりがひどく意欲低下に繋がらず、ADL低下 認知症が進行し日常生活動作ができなくなる ⑤友人に会う機会や楽しみの時間を増やす ような支援が必要	友人と1人で2ヶ所に行く。教え子とお話し 外食して楽しむ 意欲向上につなげる。活動量を増やす 準備1冊の時間が増える。 人とハイキングに行くようにする。	○ 1 関連

(アセスメントで明らかにするもの)

課題分析 標準項目	状態	原因	問題 (困りごと)	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ) 仮置き	ニーズ番号 (優先順位) 仮置き	
16 排尿・排便	尿・便意はあるが、痛みのため思うように歩けず間に合わないことがあった。トイレは寝室の横。 排便は4日に1回	足の痛み	利用者			
			家族	トイレに間にあわない	失敗してトイレに行けず、欲し	
			意見	失禁が増える可能性 → 自力でトイレに行ける支援が必要	失禁は、自力でトイレに行けることができる。	
17 じよく瘡・ 皮膚の問題	特に問題なし	皮膚の状態 良好	利用者			
			家族			
			意見	皮膚トラブルがある可能性がある。 → 皮膚の観察が適宜実施する必要。 → 入浴ができる環境を整える必要がある。	清潔が保持され、皮膚トラブルなく過ごしていける。	
18 口腔衛生	部分義歯 歯磨きは自分でやっている。口腔内に異常なし。	歯がきかなくて、 以前からの生活習慣でできら	利用者			
			家族			
			意見			
19 食事摂取	普通食摂取。医師より、低体重なので糖尿病食は摂らないでバランスの取れや食事で栄養改善を図るように言われている。 水分700ml。水分を勤めてもトイレに行きたくないからと拒否がある。	食事の準備が できない	利用者	食の量減らして、水分を控えている		
			家族	夫もかきと買ってくる	バランスのとれた食事と適切な水分量をとる	
			意見	低栄養が心配 (脱水) → バランスのとれた食事の適切な水分量の摂取が必要	栄養の改善を図る 適切な水分量をとる 体重改善して食欲があがる可能性がある	
20 問題行動	なし		利用者			
			家族			
			意見			
21 介護力	夫が介護をしているが、家事は全くしたことがなく、頑固な性格、大工仕事はしているが健康というほどではない。(虚弱) 長女は土日のみ。	夫が虚弱、家事 できない 長男・長女が 家事で忙しい	利用者	私の介護(お風呂、食事)土日(お風呂のみ)		
			家族	糖尿相食のついでに、夫の介護の負担が増え、体調を崩すことがある 介護が可能な状態になる可能性がある ②介護の負担を減らさない、長女への協力が得られず、負担の軽減はできず。	良好な家族関係が継続して 自宅での生活と続けられることが出来る。	
			意見			
22 住環境	持ち家、2階建て、自室は1階にあり、1階部分で生活している。布団で寝起きをしている。 洗濯は行っていないため、2階には上がらない。段差が多い。	段差が多い。 下肢筋力低下 下肢の痛み。	利用者	段差が心配。広い歩き不安、起立が怖い大変。	転ばずに歩ける	○ 1-2 関連
			家族	段差がある心配。	安心して 転ばずに歩ける → 3階階段がなくなり、階段と 筋力向上が見込める	
			意見	車いすの購入 → 住環境の整備が必要		
23 特別な状況	特になし		利用者			
			家族			
			意見			